

金のきらめきが
たおやかに表情を変える
飾り扇



OIKAZE

ITOKO DESIGN MODEL



京都の手描き友禅技法の一つ、金彩で描く絹扇面の『OIKAZE 伊と幸モデル』は、団扇メーカーとの協業による今までにない飾り扇です。

扇面には、金色紙を裏貼りした絹織物を使用しています。緯糸(よこいと)には節のある絹糸を使用し、天然素材らしい柔らかな風合いが特徴です。金彩は伝統工芸士である志賀 豊氏による手仕事で、1枚1枚丁寧に仕上げられています。角度によって変わる生地表情や金彩の輝きが、何度も見る楽しさを演出してくれます。2つのデザインをそれぞれ3色ずつ、合計6種類をご用意致しました。

『雪輪花紋』は、五穀豊穡を願う雪輪紋様に、四季の花々を配しております。『組紐流水』は、厄を流すという意味を持つ流水を、「縁を結ぶ」「人と人を結ぶ」という意味を持つ組紐で表現しました。いずれも吉祥紋様を用いた縁起の良い飾り扇となっています。



Product size : W153mm/D90mm/H298mm (組み立て時)

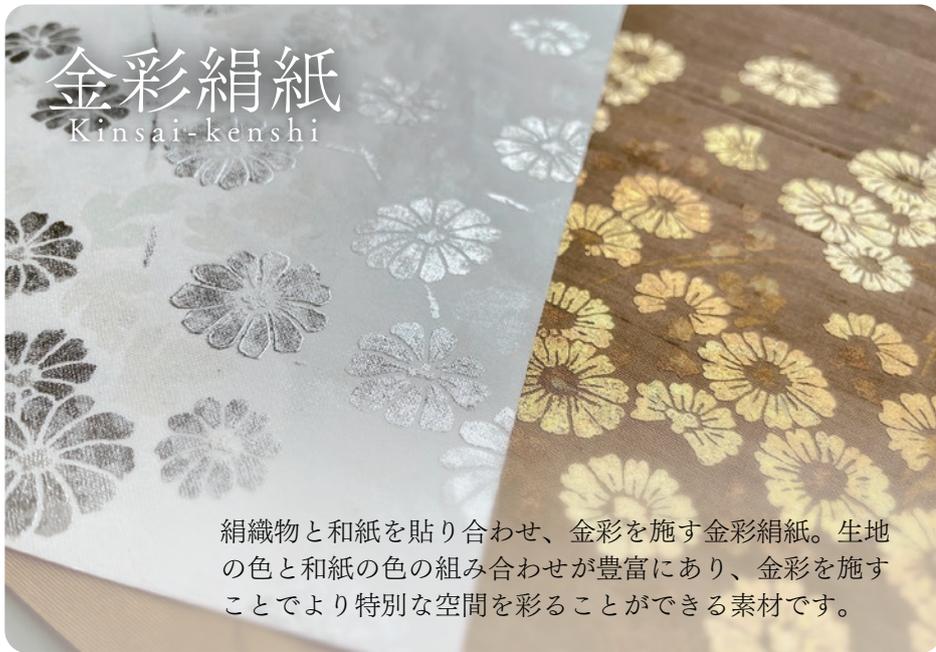
(Box size : W180mm×D300mm/H41mm)

飾り扇 : 竹、紙、絹 日本製

飾り扇スタンド : 木 中国製

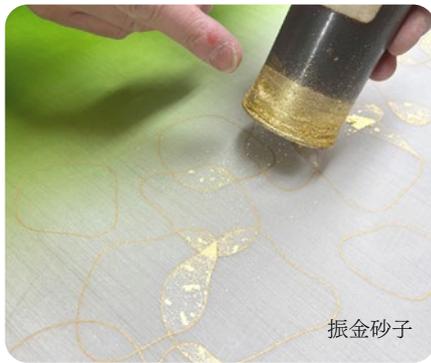
定価 : ¥11,000 (税込み)





絹織物を和紙に貼り合わせた素材です。壁紙としてはもちろん、表具などにもお使いいただけます。生地はざっくりと織られており、織目からベースとなる和紙が透けて見えるため、角度によって異なる表情を見せてくれます。金彩は、特注柄のほか、伊と幸のアーカイブからもお選びいただくことができます。

絹織物と和紙を貼り合わせ、金彩を施す金彩絹紙。生地の色と和紙の色の組み合わせが豊富にあり、金彩を施すことでより特別な空間を彩ることができる素材です。



振金砂子

紋様の輪郭を線で際立たせる「くくり」、金粉を絶妙な加減で生地に落としていく「振金砂子」など、技術と感性を必要とする意匠を作り出します。薄絹と金彩の組み合わせは、透明感と上品な箔の照りの相性が良く、京の名工による一品として、空間やそのコンセプトなどのご要望に合わせてお見え致します。



金彩工芸 Kimono Gold-leaf Art

金銀箔などの金属箔を用いて着物に華やかな彩りを加える金彩加工。連綿と受け継がれてきた職人達の技は、京友禅の歴史と共に発展してきました。

株式会社 伊と幸

■ 和装用白生地

和装事業

京都室町の白生地メーカーとして 1931 年に創業し、日本の絹の最高峰、至高の「絹織物」を織り続けております。



kimono-itoko.co.jp

Office

〒604-8176 京都府京都市中京区龍池町 448-2
御池室町 伊と幸ビル 6F

■ 絹ガラス

インテリア事業

絹と着物一筋に向き合う中で培った感性と、日本の繊細で洗練された感覚「透かし」「うつし」「かさね」をテーマに空間装飾材として提案しています。



silkglass.jp

絹の白生地資料館 / 絹ガラスショールーム

〒604-8176 京都府京都市中京区龍池町 448-2
御池室町 伊と幸ビル 4F (受付 6F 事前予約制)

■ SILK365

オンラインショップ

よりシルクを身近な存在に感じてもらい、生活シーンの様々な場面にシルクがある生活をご提案するブランドです。絹を使った生活用品などを開発・販売しています。



silk365.jp

ご予約・お問合せ

Tel : 075-254-5884

Mail : contact@kimono-itoko.co.jp

営業時間 : 9:00 ~ 18:00 (土日祝休み)

■ 姫+

素材開発事業

純国産生糸「松岡姫」を使用した、業界初の新しい構造を持つ「洗えるシルク糸」をご提案しています。



特設ページ

@kimono.itoko

@kimono_itoko

@kimono.itoko.co.jp

@itokosilkglass